

平成28年度事業報告

事業の概要

平成28年度事業計画に基づき、香川県・中央団体の支援・指導及び関係諸団体並びに会員との緊密な連携を保ち、次の諸事業を実施し、本県畜産の振興に努めた。

《公益目的事業》

(公1) 畜産の経営支援に関する事業

1. 地域畜産支援指導等体制強化（地方競馬全国協会公募補助事業）

行政の補完業務の円滑な推進を図るとともに、会員及び関係団体との連携を密にして、畜産の担い手育成・確保・増強に向けた体制強化、地域畜産に対する理解醸成等畜産関連公益活動体制の強化、地域団体と連携協調体制の基盤強化及び地域一体型事業モデル等の創出等の事業を実施し、本県畜産経営の安定に努めた。

2. 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛経営では、繁殖雌牛の増頭、離島・山振地域の肉用子牛集出荷等の推進に対する奨励金を交付し、養豚経営では、一代雑種雌豚の導入に対する奨励金を交付した。

1) 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

((独) 農畜産業振興機構公募補助事業)

地域における肉用牛の生産・改良基盤の育成・強化を図るため、中核的な繁殖経営農家の育成・支援のための増頭推進及び離島地域の子牛の流通活性化を図り、肉用牛経営安定対策を補完する取組支援を実施した。

区 分	内 容	奨励金 単価	金 額	備 考
肉用牛生産基盤強化対策事業	中核的担い手育成増頭推進 増頭推進 82頭	80,000円又は 100,000円	7,800,000円	香川県 農業協 同組合
地域の特色ある肉用牛振興対策事業	離島等子牛流通活性化 集出荷輸送費 50頭	400円又は 900円	36,500円	

2) 養豚経営安定対策補完事業（(独) 農畜産業振興機構公募補助事業）

生産集団において産子数の向上により生産コストの低減を図るために必要となる一代雑種豚の導入を支援し養豚経営の体質強化を図った。

区 分	内 容	導入頭数	金 額	備 考
地域肉豚能力向上支援	ハイコープ豚の導入により肉豚の生産性向上を図る。	頭 78	円 1,560,000	産直豚生産 流通部会

3. 畜産特別資金等推進指導事業（(公社) 中央畜産会補助事業）

畜産経営維持緊急支援資金借受農家（1戸）の経営計画達成のため、外部有識者

を招き、現地検討会の開催（2回）、支援協議会の開催（1回）、経営内容の調査・分析等を行い、改善上必要な事項について指導を行った。

地区名	資金名	貸付日	貸付金額	償還期間 (据置期間)	備 考
仲多度	緊急支援資金 (養豚)	H22. 5. 31	84,907,000 円	15 年 (5 年)	2 年間無利子

4. 畜産リース指導事業（(公財) 畜産近代化リース協会受託事業、(公社) 中央畜産会受託事業）

畜産農家が（公財）畜産近代化リース協会とのリース契約により導入した機械の保守管理状況の調査指導や事業の啓発普及に努めた。また、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）の窓口団体として(公社)中央畜産会からの委託を受け事業推進業務を実施した。

5. 畜産経営技術高度化促進事業

畜産経営を巡る情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成・発展、地域の畜産基盤の維持を図るため、畜産経営者、会員および畜産関係団体に対して経営改善支援、実態調査、情報収集およびホームページによる畜産経営技術、畜産情勢、新技術に関する情報を提供した。

1) 畜産経営技術高度化事業（独自事業）

高度化する生産・経営技術に対応した支援指導を行うため、支援指導体制を整備し、畜産経営をめぐる情勢の変化に対応しうる経営感覚に優れた生産性の高い畜産経営体の育成を図るため畜産経営技術の支援指導、インターネットによる県内畜産経営関係情報の提供を行い、本県畜産の発展に努めた。

区 分	内 容
畜産経営関係情報のデータベース化	ホームページ「かがわ畜産ひろば」の運用、情報の収集・蓄積

2) 畜産クラスター全国推進事業に係る全国実態調査（(公社) 中央畜産会受託事業）

畜産クラスターに係る取組を全国で推進するために必要な情報として、全国の先進的な経営体等を対象に経営内容に係る調査として、2戸の調査を行った。

3) 地域畜産基盤維持継続緊急対策事業（地域における調査・支援活動事業）

（(公社) 中央畜産会助成事業）

県内の肉用牛及び養豚の経営技術の改善向上を図り、地域畜産基盤の維持に資することを目的に、①経営・技術情報の調査、個別支援を行った。

実施戸数：11 戸（肉用牛繁殖経営 7 戸、肥育経営 2 戸・養豚経営 2 戸）

4) 畜産・酪農生産力強化対策事業実施(家畜生産性向上対策)

（（公社）中央畜産会受託事業） ㊦

道府県における家畜の遺伝的能力を最大限に発揮させるため、家畜・酪農の生産性に係るデータ等の収集及び分析・技術指導を実施し、家畜・酪農の生産性向上を図った。実施戸数2戸：(肉用牛繁殖経営2戸)

6. 畜産関係団体調整機能強化事業（（公社）中央畜産会受託事業）

県行政と緊密な連携のもと厳しい畜産環境に対処するため、畜産関係団体と連携し、県内畜産の活性化を図った。

- (1) 畜産関係団体の機能強化のため、関係団体による讃岐牛等枝肉共励会に協賛した。
- (2) 畜産生産者の相互連携と体制強化のため、肉牛・酪農関係団体等による讃岐畜産仲間づくり発表大会（基調報告3題）を開催した。
- (3) 畜産女性のグループ化を進め、讃岐畜産女性の会を開催するほか、第16回讃岐畜産女性の会牛枝肉展示共励会を坂出食肉卸売市場において開催した。

また、「第9回香川県畜産フェア」に協力し、畜産物の展示・試食・販売を通じ、畜産に求められる消費者ニーズの把握に努めた。

7. 畜産関係団体運営支援事業

（香川県養鶏協会・香川県養豚振興会・香川県養豚協会等受託事業）

香川県養鶏協会・香川県養豚振興会、香川県養豚協会等からの事務局業務を受託、実施した。

（公2）畜産の価格差補填に関する事業

1. 肉用子牛生産者補給金制度（基金事業、（独）農畜産業振興機構補助事業）

(1) 肉用子牛価格安定事業

牛肉の輸入情勢の変化が肉用子牛の価格等におよぼす影響に対処するため、肉用子牛の価格が保証基準価格を下回った場合に生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る制度で、平成28年度は、第6業務対象年間(27年度～31年度)の2年目として事業を実施した。

①平成28年度生産者積立金造成状況

(単位：頭、円)

品種区分	契約頭数	積立単価	積立所要額	負担区分		
				生産者(1/4)	香川県(1/4)	農畜産業振興機構(1/2)
黒毛和種	894	1,200	1,072,800	268,200	268,200	536,400
その他の肉専用種	0	12,400	0	0	0	0
乳用種	423	6,400	2,707,200	676,800	676,800	1,353,600
交雑種	4,585	2,400	11,004,000	2,751,000	2,751,000	5,502,000
合計	5,902	—	14,784,000	3,696,000	3,696,000	7,392,000

②平成 28 年度保証基準価格及び合理化目標価格並びに平均売買価格（単位：円）

区分	品種区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格		337,000	220,000	133,000	205,000
合理化目標価格		280,000	149,000	90,000	147,000
平成 27 年度第 4 四半期		768,500	478,200	239,300	392,200
平成 28 年度第 1 四半期		797,900	508,100	229,300	387,800
平成 28 年度第 2 四半期		812,100	389,600	216,700	401,200
平成 28 年度第 3 四半期		849,200	372,500	208,600	417,900

③平成 28 年度生産者補給金交付状況（単位：頭、円）

区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
交付頭数	0	0	0	0	0
交付金額	補給交付金	0	0	0	0
	生産者積立金	0	0	0	0
	合計	0	0	0	0

(2) 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

事務委託先 2 団体（香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て、肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の効率化を図った。

また、事業の円滑な実施を図るため、研修会の開催、普及啓発、調査指導及び現地調査等を行った。

2. 肉用牛繁殖経営支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

(1) 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の 8 割水準を下回った場合に差額の一部を補填することにより繁殖経営の所得を確保して、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図る事業であるが、平成 28 年度については、交付実績はなかった。

肉用牛繁殖経営支援交付金交付状況（単位：頭、円）

区分	黒毛和種	その他の肉専用種	合計
発動基準	450,000	290,000	—
交付頭数	0	0	0
交付金額	0	0	0

(2) 肉用牛繁殖経営支援地域推進事業

（独）農畜産業振興機構及び香川県並びに事務委託先 2 団体（香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て、事業の円滑な

推進を図るため事業内容の周知及び研修会の開催、普及啓発等を行った。

3. 肉用牛肥育経営安定特別対策事業(基金事業、(独)農畜産業振興機構公募補助事業、香川県助成事業)

(1) 肥育牛補填金交付対策

肉用牛肥育経営の安定を図ることを目的に、四半期ごとの肥育牛1頭当たりの粗収益(全国平均)が生産費(全国平均)を下回った場合に、生産者の拠出と県及び農畜産業振興機構の助成により造成した肥育安定基金から、肥育牛1頭当たりの粗収益と生産費との差額の8割を肥育牛補填金として交付した。

平成28年度は、第3業務対象年間(平成28年度～30年度)の1年目として事業を実施し、下表のとおり契約生産者に対し補填金を交付した。

なお、牛肉・稲わらからの暫定規制値等を超えるセシウム検出に関する緊急対応策のうち、肥育経営の支援対策として、平成23年度第2四半期より毎月補填を行っている。

なお、第2業務対象年間は、平成27年度で3カ年の業務対象年間が終了したので、品種毎に区分経理している肥育安定基金の残高について、補助を受けた独立行政法人農畜産業振興機構、生産者積立金の助成を受けた香川県および、契約生産者にそれぞれ返還を行った。

平成27年度事業(平成28年2月～3月)

①肥育安定基金造成状況

(単位：頭、円)

品種 区分	積立 頭数	積立 単価	積立 所要額	負担区分		
				生産者	香川県	農畜産業 振興機構
肉専用種	478	40,000	19,120,000	4,684,400	95,600	14,340,000
交雑種	727	100,000	72,700,000	17,811,500	363,500	54,525,000
乳用種	173	68,000	11,764,000	2,882,180	58,820	8,823,000
計	1,378	—	103,584,000	25,378,080	517,920	77,688,000

②肥育牛補填金交付状況

(単位：頭、円)

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	0	0	145	145
金額	0	0	2,047,500	2,047,500

③業務対象年間終了に係る補助金等の返還額

(単位：円)

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
契約生産者	129,517,977	358,925,381	3,037,043	518,813,401
香川県	2,143,202	5,755,644	337,375	8,236,221
(独)農畜産業振興機構	394,846,621	1,094,043,077	92,122,256	1,581,011,954
返還額計	526,507,800	1,458,724,102	122,829,674	2,108,061,576

平成 28 年度事業（平成 28 年 4 月～平成 29 年 1 月）

①肥育安定基金造成状況

（単位：頭、円）

品種 区分	積立 頭数	積立 単価	積立 所要額	負担区分		
				生産者	香川県	農畜産業 振興機構
肉専用種	2,573	40,000	102,920,000	25,287,200	442,800	77,190,000
交雑種	4,827	100,000	482,700,000	118,783,000	1,892,000	362,025,000
乳用種	545	104,000	56,680,000	14,025,440	144,560	42,510,000
計	7,945	—	642,300,000	158,095,640	2,479,360	481,725,000

②肥育牛補填金交付状況

（単位：頭、円）

区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	0	507	417	924
金額	0	3,143,400	17,956,000	21,099,400

(2) 肥育経営安定推進

本事業の推進、個体登録・販売申出、積立金納入、肥育牛補填金交付業務等について事務委託先 2 団体（香川県農業協同組合、一般社団法人香川県配合飼料価格安定基金協会）の協力を得て推進を行った。

4. 養豚経営安定対策事業（（独）農畜産業振興機構公募受託事業、生産者受託事業）

県内の養豚経営安定対策事業に参加する養豚事業者等に対して、事業説明会（1 回）を開催し、事業内容の周知を行うとともに事業参加のための書類作成支援等を行った。

(公 3) 家畜の生産衛生に関する事業

1. 家畜生産農場衛生推進事業

県下における家畜伝染性疾病の流行防止のため、畜産農場における家畜疾病の清浄化への組織的な取り組みの支援や指定する獣医師による予防接種を実施した。

1) 家畜生産農場清浄化支援対策事業（国公募補助事業、独自事業）

生産農場における疾病の清浄化及び発生・流行防止のため、ワクチン接種推進に係る策定会議を開催し接種計画等を策定するとともに、吸血昆虫媒介疾病によるワクチン接種の推進や家畜防疫の実施のための経費助成等を行った。

- (1) 牛白血病の感染拡大防止を図るための防疫推進計画の作成のための現地検討会
2 回 参集人員 20 名
- (2) ワクチン接種計画策定会議
1 回 参集人員 10 名

(3) 浸潤農場における牛白血病検査（牛1農場・367頭）

（単位：頭）

区 分		計画頭数	実 施 頭 数			実施率 (%)
			東部	西部	計	
牛	牛異常産三種混合	4,000	2,080	1,696	3,776	94
	牛アカバネ病	0	0	0	0	0

2) 農場 HACCP 認証支援地域強化促進事業（(公社)中央畜産会受託事業）

農場 HACCP の構築に取り組む農場（酪農1戸、養豚2戸）に対して、農場 HACCP 認証基準に基づき専門家による農場 HACCP の構築指導を行い、県内の農場 HACCP 取組の中核となる農家への支援を行った。

3) 自衛防疫体制強化推進事業（家畜衛生対策推進協議会受託事業）

県内伝染病発生時の対応等を支援するため、畜産農家での初動防疫活動の有効な方策、特定疾病発生・拡大防止に関する検討等を行うとともに、生産者段階での防疫演習等の実施、特定悪性慢性感染症（牛白血病）清浄化の推進、飼養衛生管理基準の徹底、啓発等を実施した。

(1) 地域自衛防疫体制強化推進対策

地域自衛防疫体制強化推進事業に係る会議 2回 参集人員 50名

(2) 地域自衛防疫活動推進対策

香川県家畜伝染病防疫演習（実地演習） 参集人員 100名

口蹄疫防疫演習（机上演習） 参集人員 44名

鳥インフルエンザ防疫演習（机上演習・実地演習） 参加人員 34名

(3) 慢性感染症清浄化支援対策（1集団2農場）

牛白血病抗体検査 301頭、PCR検査 55頭、忌避剤購入 2農場

(4) 飼養衛生管理基準啓発推進対策 研修会2回 参集人員 31名

4) 馬インフルエンザ等防疫強化特別対策事業（(公社)中央畜産会受託事業）

在来馬等馬伝染性貧血清浄化地域推進検討会を開催し、馬伝染性貧血の清浄化を図るため、馬伝染性貧血の定期的な検査対象となっていない在来馬等について、飼養及び衛生状況の実態調査を実施した。

(1) 馬防疫強化地域推進対策事業 検討会1回 参集人員 12名

(2) 在来馬等馬伝染性貧血清浄化推進事業

在来馬等飼養・衛生状況実態調査 5か所

5) 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（(公社)中央畜産会受託事業）

馬ワクチン接種等地域推進対策検討会を開催し、乗用馬等の馬インフルエンザワクチン接種の推進を実施した。

(1) 馬防疫強化地域推進対策事業 検討会2回 参集人員 20名

(2) 馬インフルエンザワクチン接種推進事業 ワクチン接種頭数 44頭

6) 野生獣衛生体制整備緊急対策事業（家畜衛生対策推進協議会受託事業）

野生獣被害低減対策を支援するため、県内の家畜衛生関係者等を中心とした畜産分野での情報発信体制を構築・整備するとともに、野生獣に係る衛生実態の調査等を行った。

野生獣衛生地域対策推進モデル事業

- (1) 地域衛生技術連絡協議会の開催 3回 参集人員 37名
 (2) 野生獣の衛生実態等調査 シカ 15頭、イノシシ 16頭 合計 31頭
 (3) 調査対象

シカ — ウイルス等抗体検査及び重金属等9項目
 イノシシ — ウイルス等抗体検査及び重金属等12項目

7) 飼養衛生管理基準等緊急啓発普及促進事業（(公社)中央畜産会受託事業）

「飼養衛生管理基準」の改正後の情報を関係者に迅速に周知・徹底するため、啓発普及説明会を開催し、不測の事態に備えた防疫体制の強化・推進を図った。

- (1) 地域啓発普及促進委員会の開催 1回 参集人員 9名
 (2) 啓発普及説明会の開催 4回 参集人員 122名

8) 特定疾病防止事業（独自事業）

牛・豚の各種疾病（牛コロナウイルス・牛ヘモフィルス・牛大腸菌性下痢症、豚丹毒・日本脳炎・豚パルボ等）の発生予防のため、指定獣医師により予防接種を実施した。

（単位：頭）

区分	計画頭数	実施頭数			実施率 (%)	
		東部	西部	計		
豚	豚丹毒	4,000	82	6,036	6,118	153
	日本脳炎	880	1	415	416	47
	日本脳炎・豚パルボ混合	120	0	113	113	94
	日脳・パルボ・ゲタ	1,800	15	1,347	1,362	76
	TGE・PED混合	700	29	452	481	69
牛	牛イバラキ病	800	634	212	846	106
	牛流行熱	1,310	0	0	0	0
	牛五種混合	1,590	1,113	633	1,746	110
	牛六種混合	5	0	22	22	440
	牛ヘモフィルス	410	451	50	501	122
	牛大腸菌性下痢症	100	35	51	86	86
	牛コロナウイルス感染症	1,000	297	390	687	69
	牛下痢五種混合	460	247	303	550	120
	牛マンヘミア・ヘモリチカ	120	73	30	103	86
	牛クロストリジウム・ボツリヌス感染症	550	881	0	881	160
	牛IBR・牛パラインフルエンザ混合 (鼻腔内投与型)	0	7	49	56	-

指定獣医師の指定

区 分	指定人数
公益社団法人 香川県獣医師会	5名
香川県農業共済組合	24名
計	29名

2. 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（国公募補助事業）

48ヶ月齢以上の死亡牛の円滑な処理及びBSE検査を推進して、BSEに対する不安を払拭するため、県内で死亡した牛の所有者に対し処理経費助成等を行った。

区 分	内 容
死亡牛緊急検査処理円滑化推進協議会	1回 参集人員 16名
死亡牛検査処理安定化対策	処理頭数 219頭

3. 家畜防疫互助基金支援事業（（独）農畜産業振興機構補助事業）

口蹄疫、豚コレラ等が発生した場合に備え、発生時の経済的損失を互助補償する互助基金の仕組み等について、周知、参加促進を図った。平成28年度は、事業実施期間（平成27年度～29年度）の2年目として事業を実施した。

生産者積立金造成状況

（単位：戸、頭、円）

区分	家畜の種類	契約戸数	契約頭数	生産者	
				積立金単価	積立金計
牛	乳牛（24ヶ月齢以上）	214	4,656	235	1,094,160
	乳牛（24ヶ月齢未満）		707	95	67,165
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢以上）		1,422	225	319,950
	肉専用種繁殖雌牛（24ヶ月齢未満） 及び肉専用種肥育牛		6,416	110	705,760
	肉専用種と乳用種の交雑種肥育牛		11,264	105	1,182,720
	乳用種肥育牛		993	95	94,335
※豚	繁殖用種豚（雌）	19	3,558	120	426,960
	繁殖用種豚（雄）		200	120	24,000
	肥育豚（21日齢以上）		26,290	30	788,700
合 計		233	55,506	—	4,703,750

※家族型

（公4）畜産及び畜産物の普及啓発に関する事業

1. 讃岐三畜銘柄確立総合対策事業（讃岐三畜銘柄化推進協議会補助事業）

讃岐三畜（讃岐牛、讃岐夢豚、讃岐コーチン）の銘柄確立を一体的・効率的に推進するため、推進協議会を開催して讃岐三畜販売促進のための企画調整等を行い、県内外におけるイベントへの参加、消費者懇談会、料理教室の開催、ホームページを活用した讃岐牛生産農家情報の開示などに取り組み、県産特産畜産物として認知

度を高めるとともに、流通消費拡大に努めた。

また、讃岐牛・オリーブ牛及びオリーブ夢豚の生産・販売体制を構築するとともに、今後の生産販売の基礎確立に努めた。

2. 牛乳乳製品消費促進事業（独自事業）

牛乳乳製品の消費促進のため、「ミルクメッセ 2016in かがわ」のイベント開催、「高松食と農のフェスタ 2016」での牛乳・乳製品消費啓発、牛乳・乳製品消費啓発パンフレットの配布、ミルクドリンクのレシピ紹介及び試飲等を実施した。

実施回数	イ ベ ン ト 名	実 施 場 所
1回	第9回香川県畜産フェア（ミルクメッセ 2016in かがわ）	高松市 サンメッセ香川 大展示場
1回	高松食と農のフェスタ 2016	高松市 サンメッセ香川 大展示場

3. 学校給食用牛乳供給推進事業（国公募補助事業）

安全で品質の高い国内産牛乳を学校給食用に年間を通じて計画的かつ効率的な供給推進に努めた。

(1) 供給円滑化推進事業

学校給食用牛乳の供給についての共通認識等を醸成し、地域の特性を踏まえた供給の効率化を推進するため、推進会議等を開催した。

区 分	回 数
学校給食用牛乳供給推進会議	2回
学校給食用牛乳供給推進会議による実態調査	1回

(2) 学校給食用牛乳安定需要確保対策事業

学校給食用牛乳の安定的な需要の確保、保護者負担額の軽減を図るため、不利な供給条件に基づき増しとなる経費相当額の一部について、供給数量に応じ供給業者に交付した。

供給本数	対 象 地 区
407,111本	土庄町、直島町、小豆島町

《収益事業等》

(他 1) 生乳(原料牛乳)の検査に関する事業

1. 生乳検査事業

酪農経営の安定と生乳の品質改善等のため、畜産農家の依頼による生乳の成分、品質などの検査を実施した。

2. 生乳検査受託事業（四国生乳販売農業協同組合連合会受託事業）

四国生乳販売農業協同組合連合会の委託を受けて生乳検査を実施した。

検査件数は160,147件で前年比100.1%であった。項目別検査の前年比は配分検査90.0%、牛群検査96.4%、依頼検査125.9%であった。

四国四県の項目別検査件数（参考）

（単位：検体数）

区分	28年度					27年度
	香川県	徳島県	愛媛県	高知県	4県合計	
配分検査	4,237	5,133	6,760	2,906	19,036	21,158
牛群検査	20,019	20,618	48,115	21,555	110,307	114,431
依頼検査	19,201	11,404	148	51	30,804	24,471
合計	43,457	37,155	55,023	24,512	160,147	160,060

（他2）その他畜産振興に関する事業

- 1 会員である市・町及び農業協同組合等の開催する畜産共進会・肉牛枝肉共励会・乳質改善共励会等に協賛し、賞状・賞品を提供した。
- 2 畜産指導機関と連携して畜産振興に関する技術の普及に努めた。
- 3 畜産経営技術等に関する指導資料を定期的に会員・畜産関係団体等に配布し、畜産情勢・新技術等に関する情報の提供を行った。